

Sustainability Report 2023

アルテミラ サステナビリティレポート



アルミの技術で夢のアルミライを[®]

これが私たちのパーパスです

私たちはパーパスのもと、お客様に寄り添い

夢のある未来を創造していきます

私たちは、アルミという素材に真摯に向きあい

一心にその可能性を追求してきました

今後は各社に蓄積されている開発力、技術力、知見を総動員し

グループ一丸となってお客様と夢のある未来を切り拓いていきます

加えて、高度なリサイクル技術を更に深化させ

持続可能な社会の発展に貢献します

アルミの魅力を知っている私たちは

アルミ缶・圧延事業を専業とすることで培われた

卓越した技術力と豊富な知見を糾合し

全てのお客様へ夢のある未来を届けます

『アルテミラ』



ロゴのデザインコンセプトは、英文社名「ALTEMIRA」と「Aluminum」の頭文字である「A」、国内におけるリサイクルマークをモチーフに三角形のシンボルとしました。

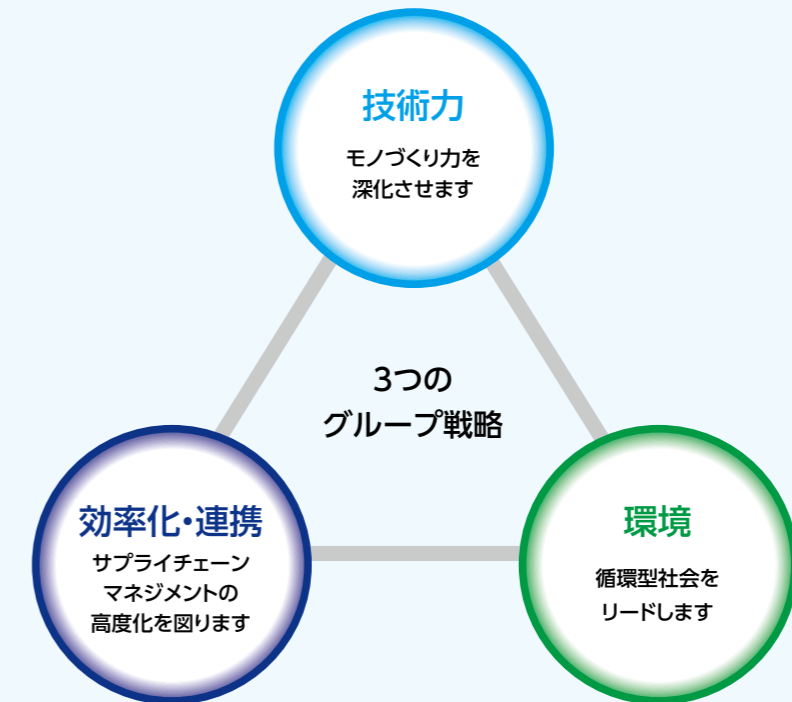
ALTEMIRAの大切なお客様およびALTEMIRAが守るべき社会を、私たちALTEMIRAグループが下支えしている姿を表現しています。

ベースカラーは、お客様に対して「One ALTEMIRA」で誠実に取り組む姿勢を表現したブルーとしています。加えて、ALTEMIRAの強みであるリサイクル技術で「グリーン社会の実現に貢献する」という想いからグリーンを組み合わせました。そして、ALTEMIRAが私たち自身、お客様、社会と共に明るい未来を創造していく姿勢を表現しています。

「世の中になくなくてはならない存在」への成長

各社の強みを融合し夢のある未来を創造していくベストプラクティスの共有・深化を水平・垂直で進めることによりシナジーを創造していくために3つの戦略を策定しました

- グループ共通の先駆的な精神を活かし、優れたモノづくりによりお客様に新たな価値を提供します
- 水平・垂直統合により各社に蓄積された知見や経験を結集させ、お客様にトータルソリューションを提供します



- グループ全体のリソースを活用することにより、生産／供給体制の最適化による事業基盤、BCM^{*}の強化を実現します
 - ベストプラクティスの共有によるサプライチェーン全体を通じた品質、安全、環境マネジメント力の向上を図ります
- *Business Continuity Management (事業継続マネジメント)

- 高いリサイクル技術を誇り、圧延・製缶垂直統合を実現したアルテミラだからこそ可能な、サステナブルソリューションを追求します
- 消費者に届く最終製品まで含めたバリューチェーン全体での、環境負荷の低減に貢献します

Contents

パーパス	P1
トップメッセージ	P3
環境に配慮した製品	P5
環境保全の取り組み	P6
コーポレート・ガバナンス	P9
安全衛生の取り組み	P11
品質保証の取り組み	P13
社会貢献活動	P15
会社概要	P17
組織図	P18
沿革	P19

編集方針

- 報告対象分野と報告対象範囲
アルテミラおよびアルテミラ製缶全体のサステナビリティ活動が対象
ただし、一部の内容はアルテミラグループ全体
- 報告対象期間
2022年度(2022年4月1日～2023年3月31日)。ただし、一部、対象期間外の活動・実績にも言及しています。
- 発行日
発行日:2023年12月26日
- 作成部署
アルテミラ株式会社 グループ戦略統括部 人事・総務部

アルミの技術で循環型社会をリードしながら、 アルテミラは成長しつづけ、 地球環境の明るい未来を切り拓きます



アルテミラ株式会社 アルテミラ製缶株式会社

代表取締役社長
中塚 晃章

アルミを軸とした循環型社会をリードする これがアルテミラグループの使命です

私たちの暮らす地球を持続可能なものにするには、これからの企業は利益追求だけでなく、社会課題の解決という時に相反することが同時に求められます。私たちは企業の社会的責任を果たすために常に新たな挑戦をつづけてきました。1971年に日本で初めてアルミ缶を製造し、1975年には業界に先駆けてアルミ缶リサイクルをスタートしました。2001年にはUBC（使用済み飲料用アルミ缶）回収から再生地金の製造、製缶まで行う「UBC一貫処理システム」を構築しました。さらにアルミ缶水平リサイクル「CAN to CAN」を国内で展開するなど、アルミを軸とした循環型社会の構築をリードしてきたのです。

現在、日本国内においてはアルミ缶のリサイクル率は

93.9%、CAN to CANのリサイクル率70.9%を達成^{※1}し、循環型経済（サーキュラーエコノミー）を実現しています。この地球環境時代に、アルミ専門の強みをさらに発揮すべく5社を統合し、アルミ缶事業、アルミの圧延・箔・押出を専門とする垂直統合型アルミグループ「アルテミラ」が誕生。業界でユニークかつ唯一無二の企業体として2022年に新たなスタートを切りました。

私たちは「アルミの技術で夢のアルミライを[®]」をパーパスに掲げ、「世の中になくなくてはならない企業」として存在価値を高めるために「技術力」「効率化・連携」「環境」という3つの戦略を策定しました。各社の強みを融合したサプライチェーンを構築し、優れたモノづくりの技術を通じてお客様にトータルソリューションを提供します。また、消費者に届く最終製品まで含めたバリューチェーン全体で環境負荷低減に貢献していきます。

2030年、温室効果ガス排出量40%削減へ リサイクルの優等生「アルミの優位性」を発信

持続可能な社会を実現し、地球環境を守り継ぐ——アルテミラグループでは2050年のカーボンニュートラル実現に向けて、2030年の目標を設定しました。2030年には、Scope1・2におけるGHG（温室効果ガス）排出量の40%削減^{※2}を目指します。この目標に向けた具体的な施策としては、均質化炉の更新や燃料転換などによる「設備効率化」、オンサイトPPAなどの「再生可能エネルギー活用」、グループシナジーを活用した「軽量化」「リサイクル材の活用促進」などに積極的に取り組んでいきます。

さらに2050年には、Scope1・2におけるGHG排出量ゼロ、Scope3におけるGHG排出量の最小化へと、最新の技術や知見を取り入れながら段階的にステップを踏んでいきます。

カーボンニュートラルの実現は、日本政府のエネルギー政策、産業界における再生可能エネルギー活用促進や省エネ技術導入、また消費者の行動変容など社会全体のパラダイムシフトが必要です。私たちが取り扱うアルミ缶・アルミ製品は消費者の生活に不可欠な存在で、アルミ缶の年間需要は約215億缶^{※3}（ペットボトルは約234億本^{※4}）の流通規模があります。先進国ではすでにアルミ缶へのシフトが始まっていますが、アルミ缶への置き換えが進むことで、大きな環境インパクトが期待できます。私たちはアルミ専門企業グループとして、リサイクルの優等生である「アルミの優位性」を世の中に積極的に発信する役割を果たしていきます。

全社を挙げて社会貢献活動を並走し、 地域に愛される“よき企業市民”を目指します

当社は国内外で展開していますが、いずれの地域においても、継続的に雇用を生み、地域経済・環境改善に貢献し、「アルテミラがこの街にいてくれてよかった」と地域の皆さんに喜んでいただける会社を目指しています。

社内では、SDGsワーキンググループ内で社会貢献活動検討チームを結成し、「アルテミラ・スマイル活動」としてアルミ缶回収や清掃・美化活動などを実施。“よき企業市民”として地域に愛される企業となるべく社会貢献活動に取り組んでいます。

また、従業員に向けては、多様な人材がそれぞれの能力を発揮できる職場環境を創出し、エンゲージメントを高めるダイバーシティ&インクルージョン施策を実行していきます。当グループの中核をなすアルテミラ（旧・昭和アルミニウム缶）とアルテミラ製缶（旧・ユニバーサル製缶）はかつて互いに認め合うライバル会社でしたが、現在、One ALTEMIRAの旗を掲げ、営業部門、調達・SCM部門、生産・技術統括部門を一体化させて、ベストプラクティスを共有する水平展開を進めています。そして、毎月のトップメッセージ発信やタウンホールミーティングなどの交流を活性化して社内文化の融合を図り、企業統合を当社の強みに変えていきたいと考えています。

アルテミラが成長しつづけることが 地球環境の明るい未来に直結します

企業が社会にとって価値ある存在となるには、環境・社会・人に貢献するサステナビリティ実現に向けた挑戦が欠かせません。当社は環境問題が顕在化してきた1970年代から循環型社会の実現につながる事業活動をつづけてきました。私はアルテミラが成長をつづけ、従業員がよりいっそう光り輝くことが地球環境の明るい未来に直結すると確信しています。私たちの培ってきたアルミの技術で社会貢献を果たし、地球環境の明るい未来を切り拓いていきます。

※1,3 2022年度国内アルミ缶需要量(アルミ缶リサイクル協会)

※2 対象：グループ国内会社、基準年：2013年

※4 PETボトルリサイクル年次報告書2022(PETボトルリサイクル推進協議会)

環境に配慮した製品

当社では製品の軽量化やリサイクル材率向上などへの取り組みを推進し、Scope3^{*1}におけるGHG^{*2}排出量の最小化を目指します。

※1 Scope3:事業者の活動に関する原料調達、物流、廃棄などに伴う排出
 ※2 GHG:Green House Gas(温室効果ガス)

リサイクル材を活用したアルミ缶とアルミボトル

アルミ缶、アルミボトルの製造では、GHGの排出量の多い新地金から、GHG排出量の少ないリサイクル材の活用を積極的に進めています。リサイクル材は新地金の約3%のエネルギーで製造でき、GHG排出の抑制により地球温暖化防止に役立っています。

使用済み飲料用アルミ缶の回収から、鋳造、圧延、製缶工程を経て再びアルミ缶に生まれ変わる様子をYouTubeチャンネル プロセスXの協力を得て公開し、アルミの再利用価値と意義を広くアピールしています。世界中からCAN to CANに共感するコメントをいただきました。

アルテミラグループでは100%リサイクル材を用いたリサイクルボトルを製造しています。これまでの新地金を使用したアルミボトルに比べ、CO₂排出量を25%削減することができます。

アルミボトルに巻き締めるキャップへのリサイクル材活用も進めており、キャップにもリサイクル材を使用するとCO₂排出量は35%削減することができます。



アルミ缶 350ml缶



アルミボトル410B



YouTubeチャンネル プロセスX

URL <https://www.youtube.com/watch?v=YP3aUhb4rWg>
 動画タイトル「使用済みアルミ缶を再びアルミ缶にするプロセス。日本のアルミリサイクル工場。」

世界初 100%リサイクル材を使用した環境配慮型アルミカップ Green-AL CUP[®]

近年、海洋プラスチック問題などプラスチック容器の廃棄の課題が背景となって、プラスチック製使い捨てカップの代替品に関心が高まっています。こうした中、アルテミラグループは使い捨てカップの代わりになるアルミカップを開発しました。

当グループが開発した「Green-AL CUP[®]」は世界初の100%リサイクル材を使用したアルミカップです。アルミ缶やアルミボトル同様、使用後は回収から缶材・アルミ缶製造までの「UBC一貫処理システム」を通して、再びアルミカップやアルミ缶として生まれ変わります。



Green-AL CUP[®]

環境保全の取り組み

モノづくりには、多くの資源・エネルギーを消費し、さまざまな副産物や廃棄物を排出するという側面があります。当社は、限りある資源を浪費しないこと (INPUTの削減・有効活用) と、地球環境の保全に貢献すること (OUTPUTの削減・管理) を念頭に置き、コンプライアンスを遵守し、アルミ缶製造メーカーとしての特徴を活かしたサステナブルな環境保全に取り組んでいます。

環境マネジメント活動による継続的改善

アルテミラグループ環境方針

《基本方針》環境の保全に努め、豊かな自然との調和・共存を図る

- 法の遵守
環境関連諸法令の遵守
- 環境汚染予防
環境事故の未然防止、環境負荷の低減
- カーボンニュートラル
GHG排出量実質ゼロの実現
- 資源の有効活用
サプライチェーンを通じたアルミリサイクルへの対応、付加価値の提供
- 継続的改善
環境マネジメントシステム活用による環境パフォーマンスの向上

環境管理体制

全社的なEMS (環境マネジメントシステム) を構築し、そのうちISO14001認証取得範囲の主体については工場に絞り、「環境リスク低減」と「環境負荷低減」を重点実施項目として、日々の活動と継続的な改善を推進しています。



省エネ・脱炭素推進活動

[Scope1、2^{*3}関係]

照明のLED化、インバーター制御での最適運転化、電動機など高効率製品への更新、乾燥炉の温度設定最適化、ヒートポンプによる廃熱利用、エア漏れ早期検知・修繕など、あらゆる取り組みを工場全体で進めています。

[Scope3関係]

製品輸送エネルギーについては、グループシナジーを活かした交錯輸送低減への取り組みを主として、原単位削減を促進します。

※3 Scope1: 事業者自らの燃料の燃焼や工業プロセスに伴う排出 (直接排出)
 Scope2: 他社から供給された電気、熱・蒸気の使用に伴う排出 (間接排出)

水質管理活動

製缶事業では、アルミ加工時の潤滑油および表面処理剤の洗浄水を排水処理工程にて清浄な水に処理し河川などに放流します。この処理水の管理について、各工程の不備から発生する敷地内漏えいの撲滅 (発生源リスク対策)、万が一漏えいした場合に系外へ出さない常時監視・自動遮断 (末端流出防止対策) の2重の管理体制を敷いています。

廃棄物削減活動

産業廃棄物削減については、製品数量当たりの排出原単位削減とともに、廃棄物の有価物化率向上、最終埋立処分のゼロ化 (ゼロエミッション) など、循環型社会形成に寄与する再資源化率の向上に取り組んでいます。

資源の有効活用、環境負荷低減、そして脱炭素へ。

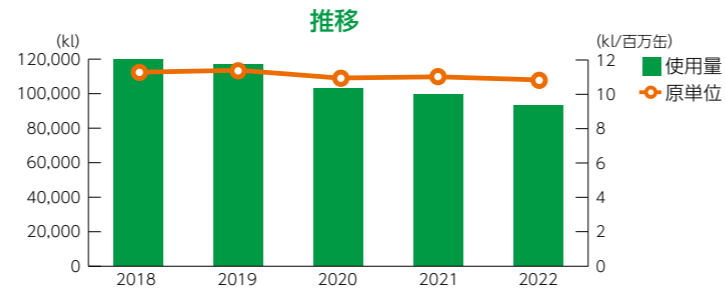
対象：製缶事業9工場

INPUT 2022年

総エネルギー使用量

93,229 kL

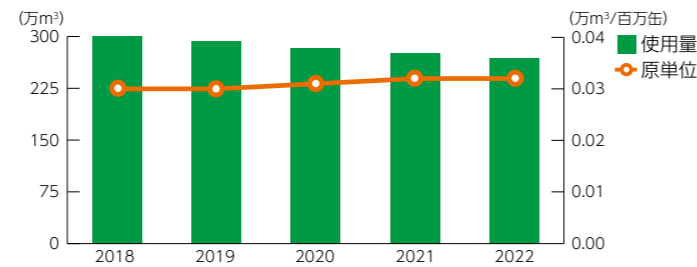
製造ラインを稼働する電力、乾燥工程に使用するガスなど



水使用量

269 万m³

加工油を洗浄する水など



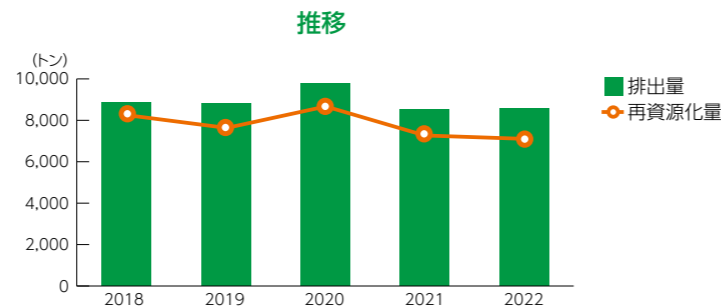
OUTPUT 2022年

廃棄物発生量

8,581 トン

(うち、再資源化量7,131トン)

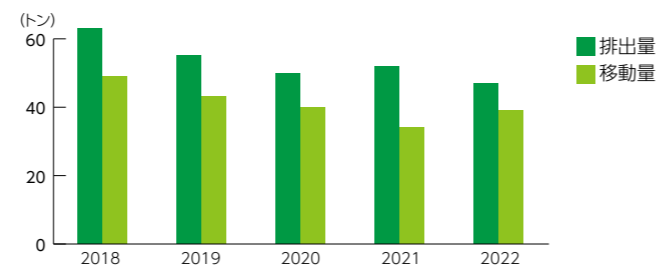
排水処理汚泥、加工油など



指定化学物質の排出量と移動量 (PRTR制度対象物質)

ホルムアルデヒド、ポリアルキルエーテルなど

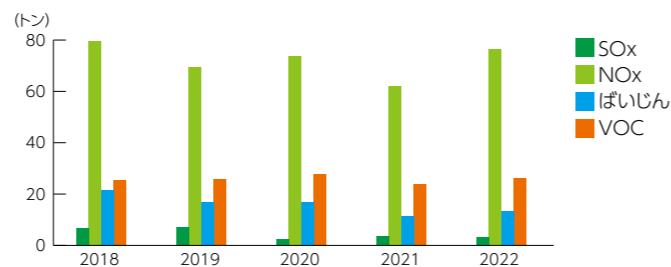
排出量：大気・水域へ 47 トン
移動量：廃棄物へ 39 トン



大気への排出量 (大気汚染防止法対象物質)

主にインキ、塗料の乾燥工程から発生する物質の総量 (VOCのみ規制値未滿へ燃焼処理した後の値)

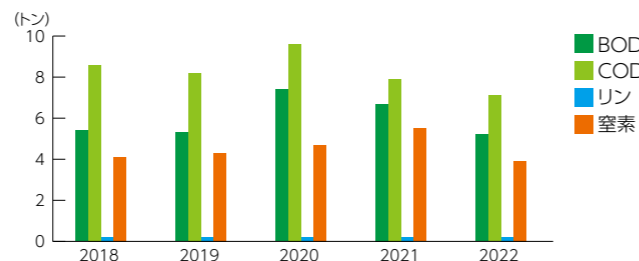
SOx 3.4 トン
NOx 76.3 トン
ばいじん 13.5 トン
VOC 26.4 トン



水域への排出量 (水質汚濁防止法対象物質)

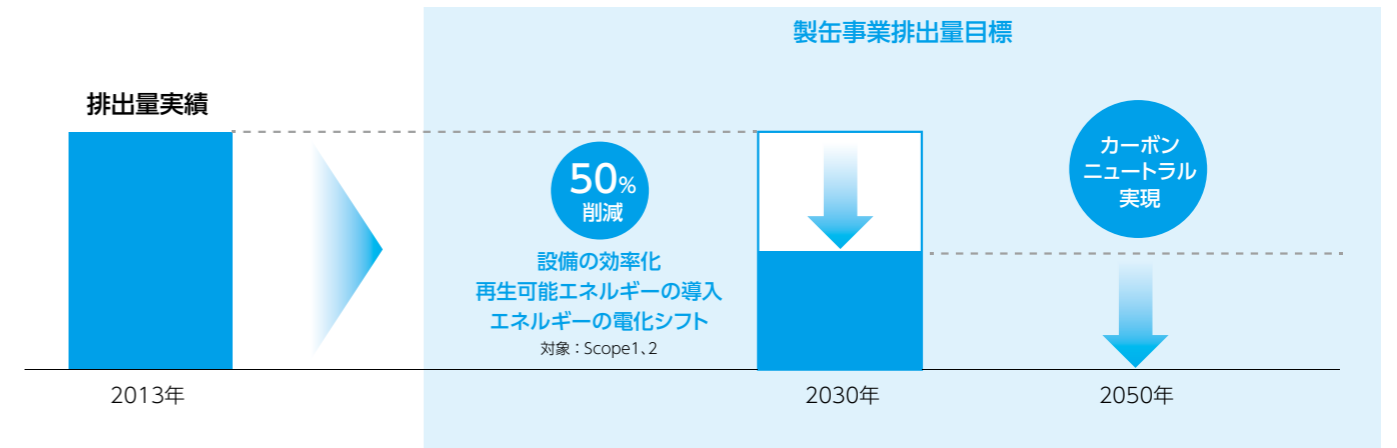
排水処理工程にて、規制値以下に処理された物質の総量

BOD 5.2 トン
COD 7.1 トン
リン 0.2 トン
窒素 3.9 トン



カーボンニュートラル宣言

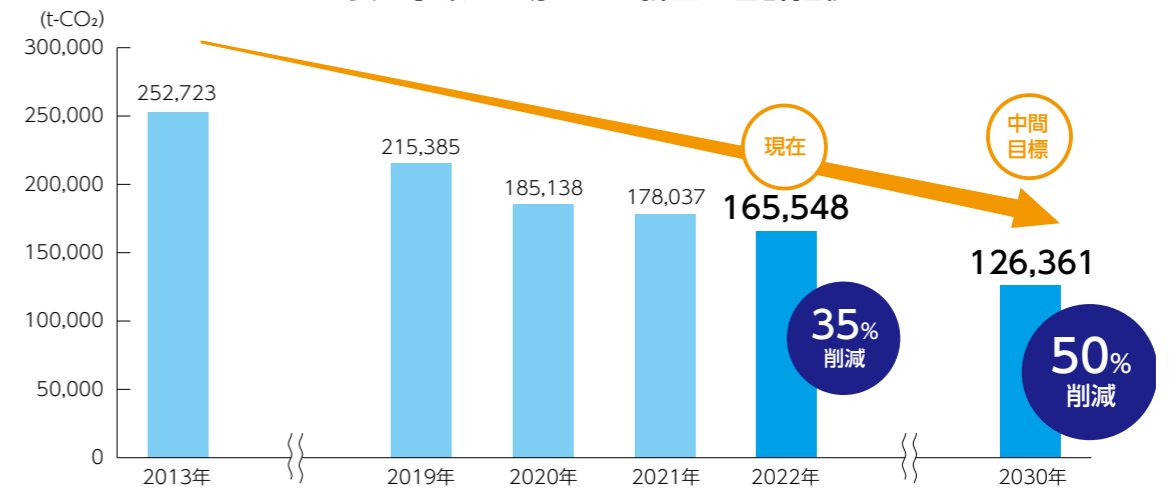
カーボンニュートラル実現に向けて



アルテミラグループの製缶事業は、各事業所内で消費するエネルギー起因のGHGを、2013年比で、「2030年50%削減」の目標を立てています。また、2050年にはカーボンニュートラル実現を目指します。

現在、設備の効率化や廃熱利用などにより、35%削減まで進捗しており、今後は再生可能エネルギーの導入や、ガス設備の電化を含む技術革新も視野に入れ、長期的目標の達成に向けて、取り組みを推進します。

製缶事業9工場のCO₂排出量合計推移



製缶事業9工場

アルテミラ株式会社

- 小山工場
- 彦根工場
- 大牟田工場

アルテミラ製缶株式会社

- 結城工場
- 群馬工場
- 富士小山工場
- 岐阜工場
- 滋賀工場
- 岡山工場

コーポレート・ガバナンス

当社ではコーポレート・ガバナンス基本方針を定め、経営の健全性、実効性および透明性を確保し、企業価値の持続的な向上により社会から信頼・評価される「社会貢献企業」を実現するために、コーポレート・ガバナンスの充実に取り組んでいます。

コーポレート・ガバナンス基本方針

当社は株主をはじめとするすべてのステークホルダーの皆様との適切な協働により、企業価値ひいては株主共同の利益を向上させることを目的に、コーポレート・ガバナンス基本方針を定めています。

1. 株主の権利・平等性の確保
2. 株主以外のステークホルダーとの適切な協働
3. 適切な情報開示と透明性の確保

1) 意思決定、監督および業務執行の体制

当社における経営の意思決定および監督については、取締役4名で構成される取締役会において行っています。取締役会に付議される案件は、代表取締役社長、取締役会および執行役員等で構成される経営会議において十分な事前審議を行い、意思決定の適正化を図っています。

業務執行については、取締役の合理的な業務分掌を定めた上で、執行役員に取締役の業務執行を補助させています。また、社内規程等により、各機関、各部署の業務分掌を定め、機動的かつ適正に業務執行を行っています。

2) 監査体制

当社においては、監査役による業務・会計監査、会計監査人

による会計監査および内部監査室による内部監査の三様の監査を行っています。

監査役は、取締役の職務執行を監査し、その適正確保に努めています。

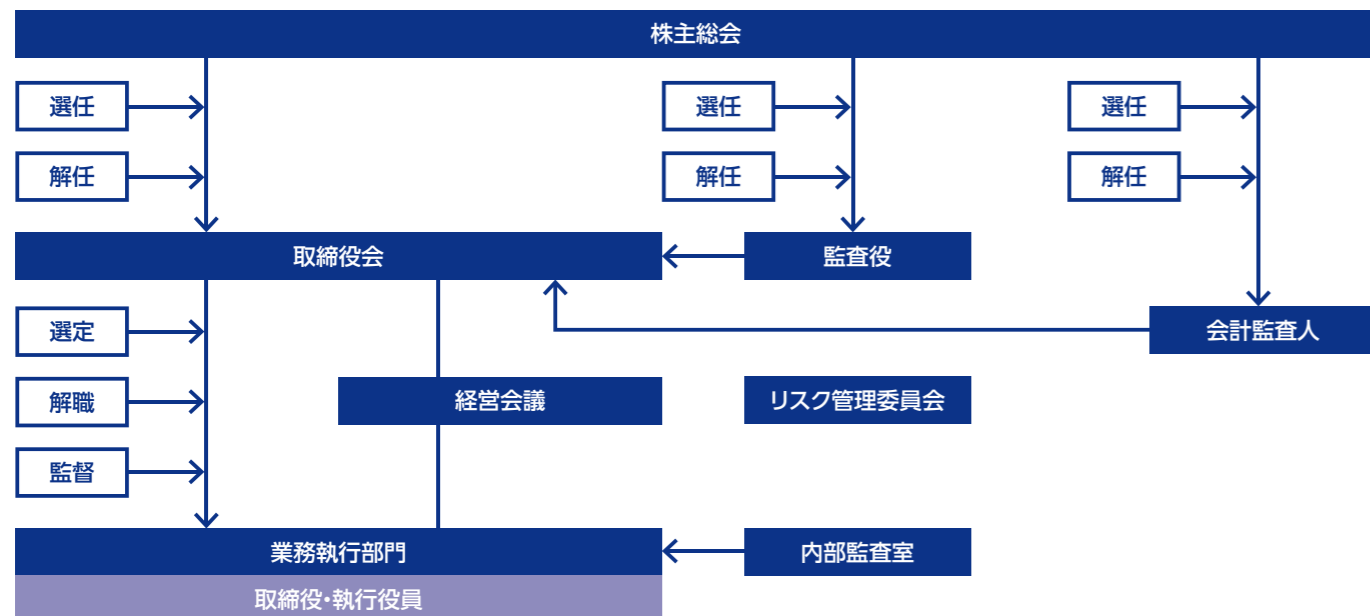
内部監査室は、主に業務内容全般の適法性、合理性、効率性などを内部監査し、被監査部署に対しては改善指導、フォローアップを行っています。

これらの結果については経営会議に報告しています。

3) 内部統制

「内部統制システムの整備に関する基本方針」を定め、当社グループにとって最適なシステムを構築するよう努めています。

コーポレート・ガバナンス体制



コンプライアンス

代表取締役社長をコンプライアンス最高責任者とし、独占禁止法、下請法、環境関連法令、腐敗防止関連法令、輸出管理法その他の法令違反のほか、人権侵害、各種ハラスメントが起きないようにコンプライアンスの遵守徹底を図っています。

1) 行動規範

新たなグループとしてスタートしたことから、グループの役員および従業員の行動の指針となる8つの行動規範を定めています。

- ①安心・安全な製品とサービスの提供
- ②法令遵守
- ③公正取引
- ④安全と環境
- ⑤ステークホルダーとのコミュニケーション
- ⑥人権の尊重
- ⑦地域社会との調和
- ⑧CSR調達

2) 企業倫理月間活動

毎年10月を「企業倫理月間」とし、この期間中の活動を通じてコンプライアンスに対する意識向上を図っています。

- ①行動規範を活用し、班・係・課・部単位で意見交換し、報告書提出
- ②経営職層、管理職層は行動規範遵守に関する誓約書提出
- ③全従業員は腐敗防止、マネーロンダリング、貿易管理に関するコンプライアンスポリシーの宣誓書提出



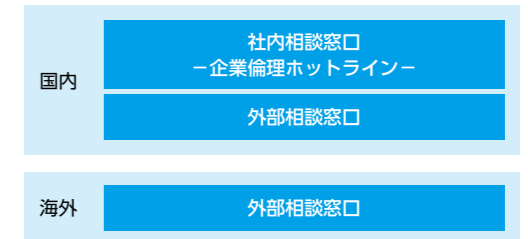
3) 内部通報窓口

当社グループでは、独占禁止法、下請法、環境関連法令、腐敗防止関連法令、輸出管理法その他の法令違反のほか、人

権侵害、各種ハラスメントなどのあらゆるコンプライアンス違反を、早期に把握・是正するため、内部通報窓口を設けています。内部通報の内容、調査に関わる情報は極秘情報として取り扱われ、内部通報をしたことを理由として不利益は発生しません。通報ルートとして社内の窓口と外部の窓口を設置し、通報者にとって通報しやすい体制を構築しています。

通報・相談があった事案は、社内規程に則り、迅速に対応しています。また、再発防止のため、制度整備、関連規程改定などを適宜行っています。

利用促進のため、イントラネットへの情報掲載などを行い、内部通報制度の周知に努めています。



4) コンプライアンス研修等

- ①独占禁止法
当社グループは、過去に子会社において公正取引委員会より独占禁止法に違反する行為があったとして処分を受けたことを厳粛かつ真摯に受け止め、二度と同様の事態を発生させることのないよう、社員教育の拡充、監査体制の強化等の再発防止策を講じています。

- ②情報セキュリティ
秘密情報の漏えい防止のため、必要な規則を制定し、グループの役員および従業員に対して研修を年に複数回実施しています。



リスクマネジメント

1) リスクマネジメント活動

新たなグループが発足してから代表取締役社長を委員長とするリスク管理委員会を計2回実施しています。委員は当社の代表取締役社長、財務経理担当の取締役、執行役員、各部門長、グループ会社社長で構成されており、グループ共通で考えられるリスクについて議論し、代表取締役社長指示の下、リスクへの低減策を講じ、早期に改善できるよう努めています。

2) 危機管理体制

当社グループでは、経営または事業活動に重大な影響を与える事態が発生した際には、代表取締役社長を委員長とする危機管理委員会を設置し、関係各々が連携して迅速に対応することができる体制を整備しています。

安全衛生の取り組み

当社は、「安全の確保に万全を期し、無事故、無災害に努めます」を行動規範のひとつとしています。

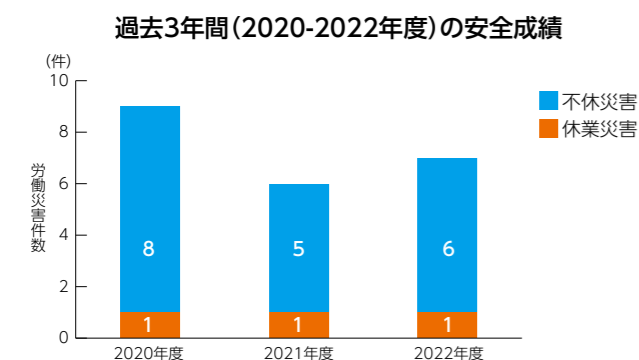
アルテミラグループ安全衛生方針

「安全と健康を守ることは全てに優先する」

法の遵守	労働安全衛生関連諸法令の遵守
安全管理	危険に対する感受性向上による労働災害の未然防止
衛生管理	心身ともに健康で明るい職場環境の形成
継続的改善	自立した安全衛生活動の運営と活性化

労働災害の状況

2022年度は、休業災害1件、不休災害6件の災害が発生しました。



ヒューマンエラー防止社内研修

安全活動

労働災害を未然に防止するため、能動的に危険を予知できるよう、また、安全感度を維持向上するよう、全員参加で安全活動に取り組んでいます。

具体的には、危険予知(KY)活動、ツールボックスミーティング(TBM)、相互注意の推進およびヒヤリハットの共有やヒューマンエラー防止社内研修を実施しています。

過去の災害については工場間監査等を実施し、その他にも、リスクアセスメントの活用で埋もれたリスクを掘り起こし、リスクを低減、あるいは設備自体の本質安全化を徹底します。

毎年7月の全国安全週間、10月の全国衛生週間では、工場長の訓話や安全標語入選者表彰を行い、従業員の安全意識を高めています。



全国安全週間の集会

VR危険体感訓練

VRによる危険体感訓練では、VR機器を装着し、労働災害の怖さを疑似体験することで、安全に対する感受性を高めています。

毎年、このような教育の機会を設け、従業員の安全意識向上に努めています。



VR危険体感訓練

交通安全

春と秋の交通安全運動期間中、交通立ち番により、シートベルト着用状況のチェックや運転マナーの指導を実施します。



マナー指導(歩行者の指差し呼称)

作業環境測定

当社には、騒音職場や有機溶剤を取り扱う職場があります。快適な職場環境と従業員の安全と健康を確保することを目的に、法令に則り、年2回、作業環境測定を行っています。

健康支援

法令に則り、「定期健康診断」、「特殊健康診断」、および「ストレスチェック」を行っています。

メンタルヘルス対策としては、社内外に相談窓口を設けています。

その他、受動喫煙防止、禁煙支援や責任ある飲酒に関する活動にも取り組んでいます。



インフルエンザ予防接種

防災訓練

火災や地震を想定し、迅速に初期消火や避難行動をとれるよう、年1回防災訓練を実施しています。



総合防災訓練(AED取扱い説明)



総合防災訓練(放水訓練)

品質保証の取り組み

当社は顧客価値の高い製品・サービスの提供のため、One ALTEMIRAとしての品質保証体制を構築し、高精度の品質管理と厳格な衛生管理を行っています。

飲料用アルミニウム缶の提供という社会的役割を担い、安全・安心なアルミ缶を皆さまにお届けします。

品質方針および食品安全方針

私たちは、お客様の期待に応える安全・安心な製品・サービスの提供をします。

1. お客様の立場に立って、満足度向上を追求します。
2. 法令を遵守します。
3. 製品・サービスの安全性を徹底していきます。

品質保証組織

品質保証部は、アルテミラ株式会社とアルテミラ製缶株式会社の品質保証活動を統括し、全社的な戦略に基づく品質方針の制定と実行推進を行っています。

2022年より「品質委員会」を設置し、各工場の品質不具合の改善状況の共有を定期的に行い、製品の品質向上に努めています。

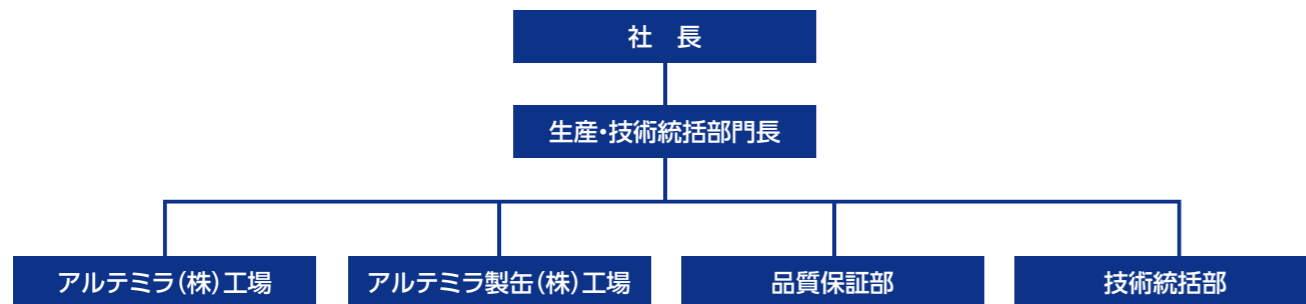
品質リスク診断

品質リスク(コンプライアンス、不具合等)低減を目的に、品質保証部が各工場の運用状況を現地確認し、評価、改善提案を行っています。

守られ度点検

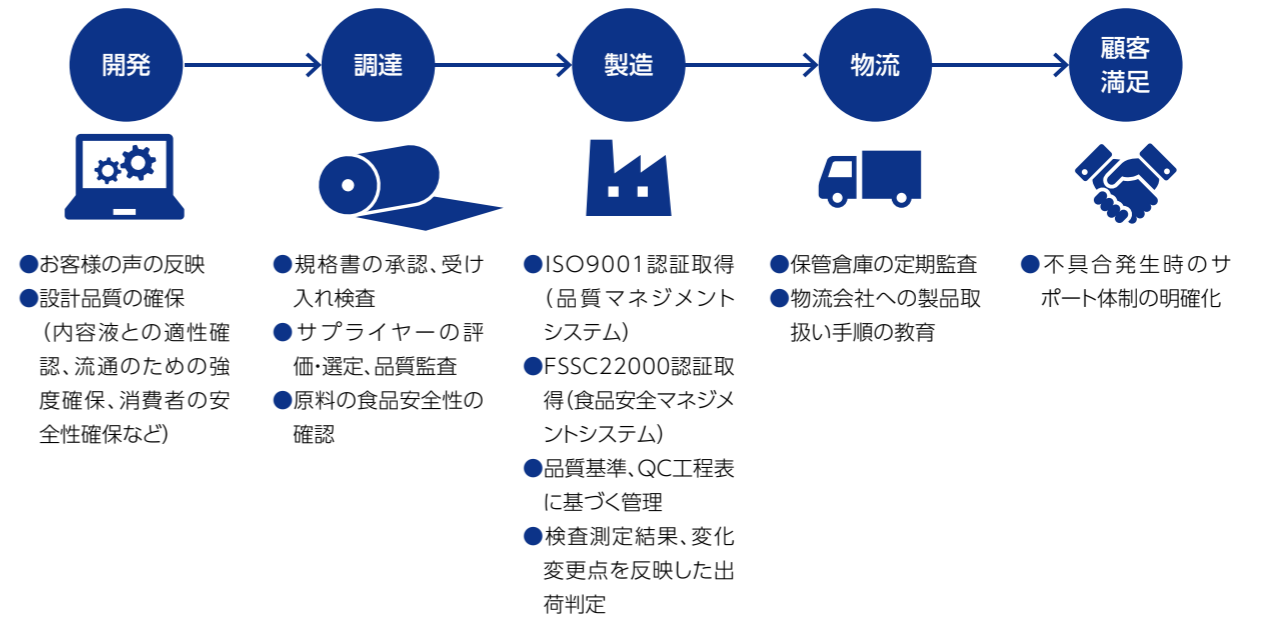
品質不具合に対して定めたルールが守られ維持されているかを各工場にて確認し、ブラッシュアップしています。

品質委員会運営組織



各プロセスにおける品質保証活動

当社製品の企画・開発から原料の調達、製造、物流、お客様への提供に至るすべてのプロセスで、全従業員が一丸となって品質保証活動に取り組んでいます。



活動実績

食の安全のための取り組み

安全・安心な製品をお客様へお届けするため、各工場に食品安全チームを設置し、以下のような活動を行っています。

- 従業員への衛生管理教育
- 防虫・防鼠管理
- 異物混入防止
- トレーサビリティ
- 定期的な微生物検査、官能検査による製品保証
- 定期的な食品安全パトロール
- フードディフェンスの管理(入場管理、カメラ設置など)
- 最終製品の食品衛生法適合の確認
(食品用器具・容器包装のポジティブリスト制度への適合)

お客様のニーズを把握し、品質レベルのステップアップ

品質会議、品質監査等のお客様とのコミュニケーションを通して、品質に関わる改善案を検討して実行することで、お客様の品質要求に応えています。

当社および他社の品質不具合事例を各工場に展開することで、品質不具合の未然防止に努めています。



顧客監査の様子

社会貢献活動

アルテミラグループ各社は、よき企業市民として、地元・地域から愛される会社でありつづけるために、スローガンを掲げ、みんなを笑顔にする社会貢献活動を推進しています。

社会貢献活動スローガン

みんなを笑顔に「アルテミラ・スマイル活動」

- アルミ缶のリサイクルで笑顔に
- 美しい環境で笑顔に
- ミライを担う人と笑顔に

資源循環型社会への貢献活動(結城工場)

「祭りゆうき」の協賛企業として使用済みアルミ缶を回収

「結城に貢献し、結城市と結城工場を良くしたい」という切なる願いを込めて、より一層地域から愛される会社を目指すために10月28日(土)～29日(日)、踊りやダンスを中心とした結城市最大のイベントである「祭りゆうき」にアルミ缶の回収事業を行っているアルテミラ・テクノソリューションズ社と共同で企業ブースを出展しました。本イベントでは地域との結びつきを深め、アルミ缶のリサイクルを通じた資源循環型社会への貢献を目的として①使用済み飲料用アルミ缶(Used Beverage Can:以下UBC)の回収、②世界初の100%リサイクル材を用いた当社製アルミカップでの飲料の提供、③アルミ缶積み上げゲームを実施しました。アルテミラ製缶として初めての出展でしたが、2日間で非常に多くの方に訪問していただいたおかげで約24kgのUBCを回収し、資源循環型社会の形成に微力ながら貢献することができました。また初日は雷雨、翌日は豪雨と両日共に午前中は雨に見舞われ、寒かったにもかかわらずアルミカップでの飲料は予想を大幅に超える数を提供できました。アルミ缶の積み上げゲームも大盛況となり、開催時間中途絶えることなくゲームがつづけられ、地域との結びつきを深めることができました。今後も本イベント等に積極的に取り組んで、より一層、地域や社会に貢献できるよう取り組んでまいりたいと思います。



教育への貢献活動(岐阜工場)

小中学校の生徒たちを工場見学にご招待しアルミの価値をアピール

工場見学は、小中学校の生徒たちにアルミの再利用価値と意義を広くアピールする重要な機会です。アルミ缶の生産からリサイクルまでの一連の工程を実際に見ることで、生徒たちはアルミが持続可能な資源であることを実感します。アルミ缶は、リサイクルによって何度も再利用でき、限りある資源を節約し、廃棄物を削減する重要な役割を果たしていることを伝えています。

また工場見学は、産業界と教育界の連携を強化する一助となります。工場と学校が協力することで、産業の専門知識が教育に組み込まれ、将来の雇用機会や産業の発展に寄与する可

能性が広がります。

さらに、工場見学は、生徒たちに環境への意識を高める機会を提供します。アルミリサイクルのプロセスを通じて、資源の大切さや廃棄物の影響について学び、SDGs(持続可能な開発目標)達成に向けた行動へのきっかけになればと思います。生徒たちは実践的な経験を通じて持続可能な価値観を育み、社会全体にその意義を広めてくれると信じて今後も継続していききたいと思います。

彼らがアルミリサイクルの意義を家庭やコミュニティに伝え、持続可能な社会を築いてくれることを望みます。



地域社会への貢献活動(小山工場)

おやまサマーフェスティバル「クリーン作戦」への参加

7月30日(日)、4年ぶりに小山市最大の夏の風物詩「おやまサマーフェスティバル」が開催され、小山の夜空を大輪の花火が鮮やかに飾りました。会場には待ちわびていた観覧客が押し寄せ、久しぶりのイベントに賑わいを見せました。

その余韻が残る翌朝6時、当社メンバーの他、多くの市民や近隣企業が集結し「クリーン作戦」が実施されました。この活動には、以前から参加していましたが、今回アルテミラグループとして初の参加となり、新たな社名を地域の皆さまに広く

知っていただきたいとの思いで「アルテミラ株式会社」の社名入りビブスを着用し、小山市在住の従業員総勢25名で参加しました。

皆で収集したゴミの量が、久しぶりの花火大会の盛り上がりを感じさせてくれました。今回多くのボランティアの皆さまと清掃活動を実施したことで、より一層地域貢献に対する一体感を肌で感じることができました。私たちは、これからも地域貢献活動に積極的に参加してまいります。ご安全に!



Company Profile 会社概要

社名 アルテミラ株式会社
(英文表記)ALTEMIRA Co., Ltd.
設立 1969年4月25日
事業内容 飲料用アルミニウム缶の製造、
研究開発および販売
資本金 110億7500万円
代表者 中塚 晃章
従業員 588名(2023年6月1日時点)

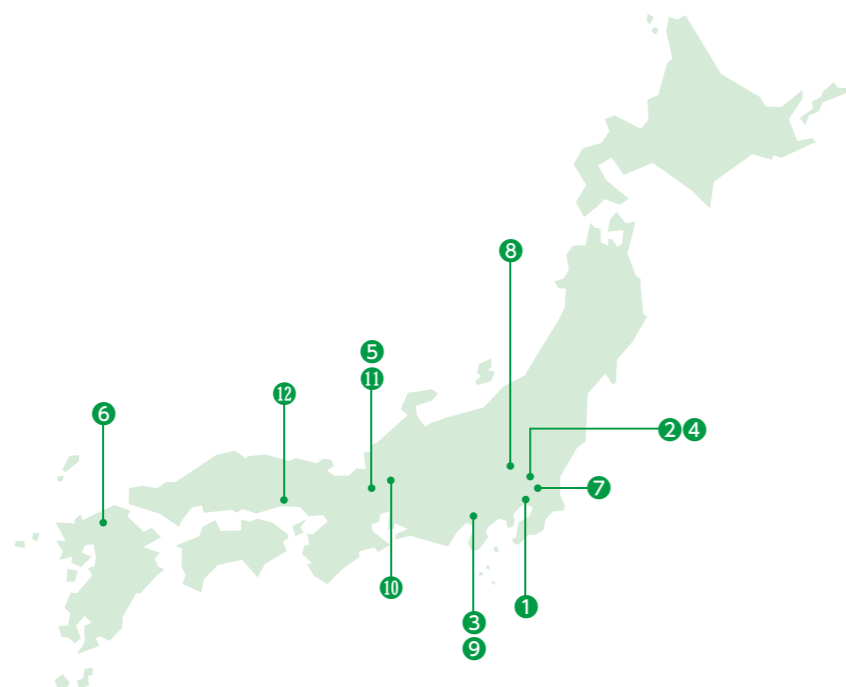
社名 アルテミラ製缶株式会社
(英文表記)ALTEMIRA Can Co., Ltd.
設立 2005年10月3日
事業内容 飲料用アルミニウム缶の製造、
研究開発および販売
資本金 80億円
代表者 中塚 晃章
従業員 890名(2023年6月1日時点)

拠点

- ①本社**
〒112-8525 東京都文京区後楽1-4-25 日教販ビル
TEL.03-3830-6130 FAX.03-3830-6131
- ②技術センター**
〒323-0811 栃木県小山市犬塚1-30-3
TEL.0285-23-1121 FAX.0285-30-2020
- ③富士小山オフィス**
〒410-1392 静岡県駿東郡小山町菅沼1500
TEL.0550-76-3260 FAX.0550-76-5430
- ④小山工場**
〒323-0811 栃木県小山市犬塚1-30-3
TEL.0285-21-2311 FAX.0285-30-1073
- ⑤彦根工場**
〒529-1151 滋賀県彦根市楡町370
TEL.0749-25-1501 FAX.0749-28-8001
- ⑥大牟田工場**
〒836-0037 福岡県大牟田市岬町1-16
TEL.0944-41-2111 FAX.0944-41-2112

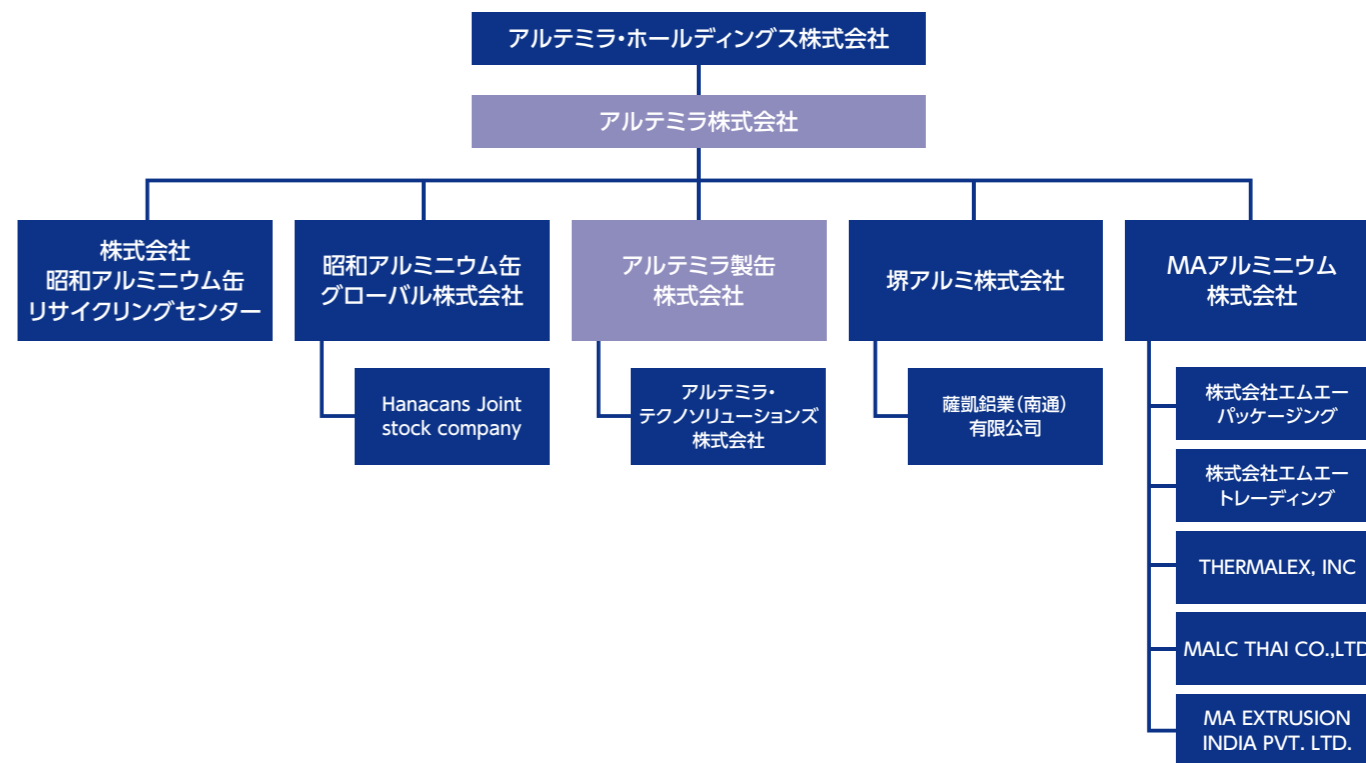
拠点

- ⑦結城工場**
〒307-0016 茨城県結城市新堤仲通り1-1
TEL.0296-33-3811 FAX.0296-33-0339
- ⑧群馬工場**
〒374-0047 群馬県館林市野辺町906-2
TEL.0276-74-8500 FAX.0276-74-7561
- ⑨富士小山工場**
〒410-1392 静岡県駿東郡小山町菅沼1500
TEL.0550-76-3211 FAX.0550-76-5521
- ⑩岐阜工場**
〒505-0006 岐阜県美濃加茂市蜂屋町下蜂屋伊瀬入会16-8
TEL.0574-26-8111 FAX.0574-26-8115
- ⑪滋賀工場**
〒522-0244 滋賀県犬上郡甲良町在士古田681
TEL.0749-38-2001 FAX.0749-38-3485
- ⑫岡山工場**
〒709-0844 岡山県岡山市東区瀬戸町南方150
TEL.086-953-1511 FAX.086-953-2230

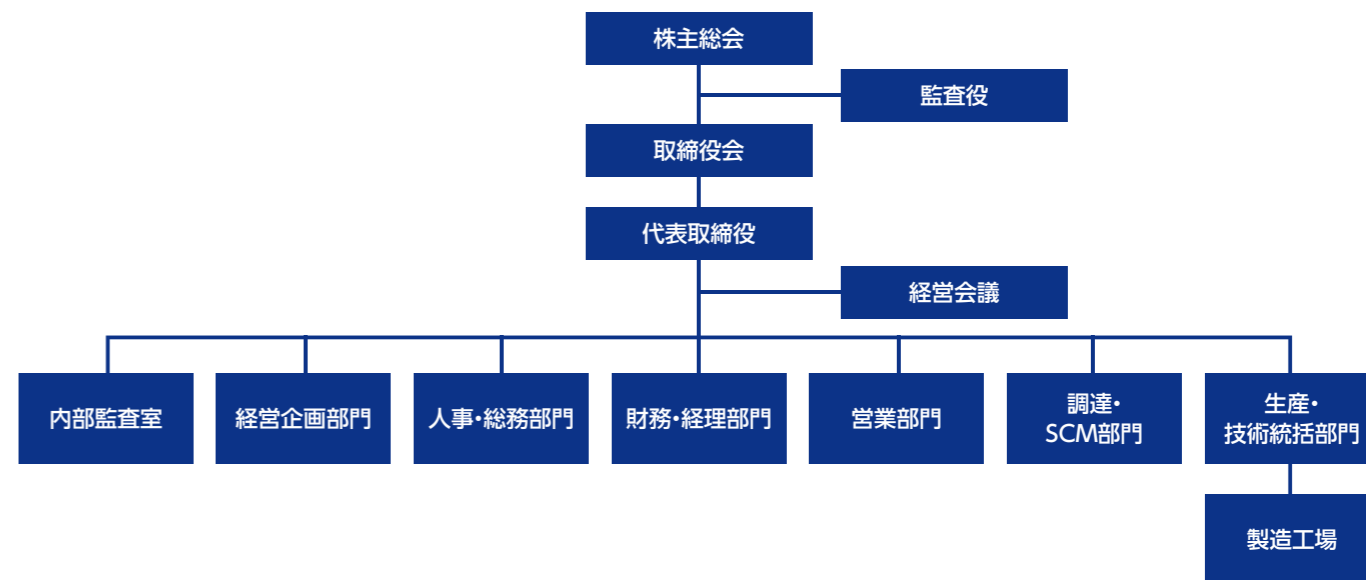


Organization Chart 組織図

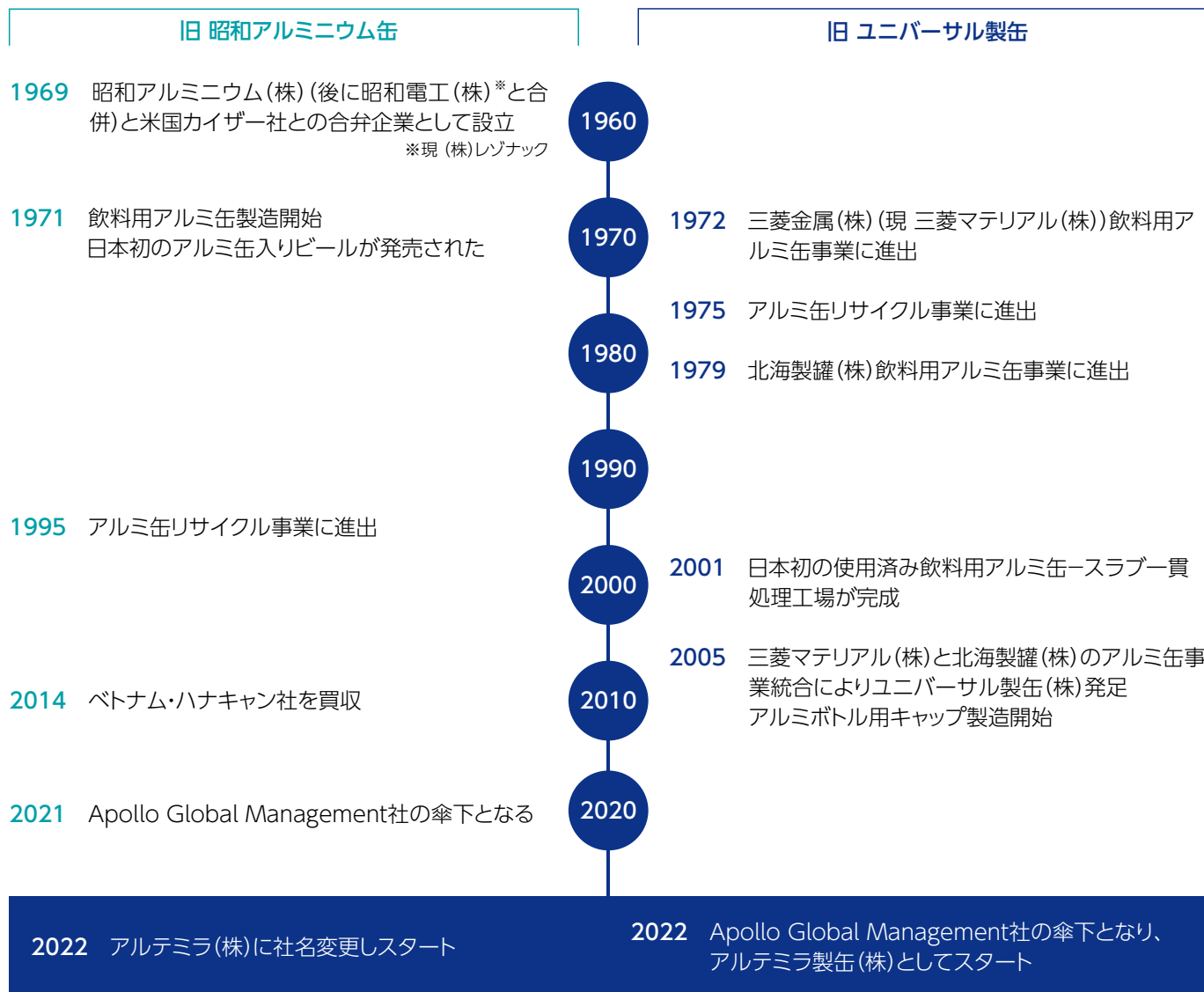
アルテミラグループ組織図



アルテミラ株式会社組織図



日本と世界の飲料用アルミ缶を支える 「One ALTEMIRA」に向けて



アルミの技術で
夢のアルミライを®